修正内容一覧

ID番号	物質名	CAS番号	項目	修正前							修正後								備考
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類根拠・問題点	分類実施年度	分類ガイダンス	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類根拠・問題点	分類実施年度	分類ガイダンス	
m-nite-7705-07-9	三塩化チタン	7705/7/9	水反応可燃性化学品	区分1	炎	危険	H260	P231+P232 P335+P334 P370+P378 P402+P404 P223 P280 P501	金属(Ti)を含み「Very reactive and readily dissociated by moisture in air.」(Merck (14th, 2006))という情報および「湿気または水と接触する場合非常に大きな発熱を伴って分解する。その発熱により自然発火し、腐食性の塩化水素(気体)を生ずる。」(ホンメル(1998))という情報により区分1とした。(パープルブック 2.12.2注記1)	変更なし	変更なし	分類できない	–	–	–	–	【分類根拠】 金属(Ti)を含むが、データがなく分類できない。なお、空気中で分解し、湿気または水と接触する場合非常に大きな発熱を伴って分解する。 その発熱により自然発火する。その際、塩化水素ガスとその水溶液(塩酸)、ならびに過酸化チタン蒸気と二酸化チタンが生じる(Hommel (1996))との情報がある。	変更なし	変更なし	2023.09修正 分類区分及び分類根拠の修正
m-nite-78-63-7	2,5-ジメチル-2,5-ビス(t-ブチルパーオキシ)ヘキサン	78-63-7	有機過酸化物	タイプE	炎	警告	H242：熱すると火災のおそれ	P411+P235：．．．℃以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。 P210：熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 P220：衣類／．．．／可燃物から遠ざけること。 P234：他の容器に移し替えないこと。 P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 P410：日光から遮断すること。 P420：他の物質から離して保管すること。 P501：内容物／容器を．．．に廃棄すること。	UNRTDGにおいて、UN 3108 クラス5.2, タイプEに分類されている。	変更なし	変更なし	タイプC	炎	危険	H242：熱すると火災のおそれ	P411+P235：．．．℃以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。 P210：熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 P220：衣類／．．．／可燃物から遠ざけること。 P234：他の容器に移し替えないこと。 P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 P410：日光から遮断すること。 P420：他の物質から離して保管すること。 P501：内容物／容器を．．．に廃棄すること。	UNRTDGにおいて、UN 3103 クラス5.2, タイプCに分類されている。	変更なし	変更なし	2023.09修正 分類区分及び分類根拠の修正
m-nite-299-84-3	チオリン酸O, O-ジメチル-O-(2, 4, 5-トリクロロフェニル)【ロンネル】	299-84-3	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1（神経系、呼吸器）	健康有害性	危険	H370：臓器の障害(神経系、呼吸器)	P308+P311：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。	【分類根拠】 (1)～(4)より、区分1（神経系、呼吸器）とした。なお、新たな情報源の使用により、旧分類から分類結果を変更した。 【根拠データ】 (1) 本物質または他の有機リン系殺虫剤を換気の悪い場所で使用した獣医師に吐き気、頭痛、喉や鼻の皮膚の炎症がみられた (ACGIH (7th, 2006)、HSDB (Access on May 2020))。 (2) ヒトへの毒性症状として、吐き気、嘔吐、腹部症望、下痢、過剰な唾液分泌、頭痛、めまい、覚醒、衰弱、鼻漏、胸部の圧迫感、視力のぼやけ、涙、毛様体筋症望、眼痛、散瞳、筋肉の調整の欠如、音声の乱れ、筋緊張、精神的混乱、嗜癖がある (HSDB (Access on May 2020))。 (3) ヒトへの毒性症状として、呼吸困難、喘鳴及び呼吸器粘液の過剰分泌、チアノーゼ、肺炎、ラッセル音、高血圧、ランダムなぎくしゃくした動き、失禁、痙攣、昏睡、呼吸器障害、呼吸器筋の麻痺、激しい気管支収縮がある (HSDB (Access on May 2020))。 (4) 本物質 (10 mg/kg/day) を発修多伴う21人の患者のグループに経口投与した結果、5人の患者は悪心、脱力感、かすみ目、蛇行性遺傷を含む副作用を報告した (HSDB (Access on May 2020))。 【参考データ等】 (5) 本物質も含まれる有機リン系農薬は、吸入、摂取、皮膚吸収を含むすべての経路で吸収され、その毒物学的影響は、神経系のアセチルコリンエステラーゼ阻害によるものであり、呼吸器、心筋、神経筋の伝達障害を引き起こす (IPCS PIM G001 (1998))。 (6) 本物質も含まれる有機リン系農薬のばく露により、ヒトではムスカリン症状 (気管支分泌の増加、過度の発汗、嘔吐分泌、流涙、頻瞳、気管支収縮、腹部症望 (嘔吐と下痢、徐脈)、ニコチン症状 (筋肉の線維束性収縮 (fasciculation of fine muscles)、頻脈)、中枢神経系の症状 (頭痛、めまい、落ち着きのなさ、不安、精神錯乱、痙攣、昏睡、呼吸中枢の抑制) が生じる。軽度の中毒には、ムスカリン性及びニコチン性の兆候のみが含まれる場合があり、重症の場合は中枢神経系の関与も示す。症状の組み合わせにより、呼吸不全になり、時には肺水腫を引き起こす (EHC 63 (1986))。	変更なし	変更なし	区分1（神経系）, 区分3（気道刺激性）	健康有害性 感嘆符	危険 警告	H370：臓器の障害(神経系) H335：呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)	P308+P311：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 P260：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 P264：取扱い後は．．．をよく洗うこと。 P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P321：特別な処置が必要である(このラベルの．．．を見よ)。 P405：施錠して保管すること。 P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P403+P233：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P261：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。	【分類根拠】 (1)より、ヒトにおいて気道への刺激性がみられるとの情報があり、また(2)より、一般的に本物質を含む有機リン系農薬はコリンエステラーゼ阻害作用があることから、区分1（神経系）、区分3（気道刺激性）とした。 【根拠データ】 (1) 本物質または他の有機リン系殺虫剤を換気の悪い場所で使用した獣医師に吐き気、頭痛、喉や鼻の皮膚の炎症がみられた (ACGIH (7th, 2006)、HSDB (Access on May 2020))。 (2)ラットの単回経口投与試験において、250 mg/kg (区分1) 以上で血漿コリンエステラーゼ阻害 (43%) がみられた (ACGIH, 7th, 2006)。 【参考データ等】 (3)本物質も含まれる有機リン系農薬は、吸入、摂取、皮膚吸収を含むすべての経路で吸収され、その毒物学的影響は、神経系のアセチルコリンエステラーゼ阻害によるものであり、呼吸器、心筋、神経筋の伝達障害を引き起こす (IPCS PIM G001 (1998))。 (4)本物質も含まれる有機リン系農薬のばく露により、ヒトではムスカリン症状 (気管支分泌の増加、過度の発汗、嘔吐分泌、流涙、頻瞳、気管支収縮、腹部症望 (嘔吐と下痢、徐脈)、ニコチン症状 (筋肉の線維束性収縮 (fasciculation of fine muscles)、頻脈)、中枢神経系の症状 (頭痛、めまい、落ち着きのなさ、不安、精神錯乱、痙攣、昏睡、呼吸中枢の抑制) が生じる。軽度の中毒には、ムスカリン性及びニコチン性の兆候のみが含まれる場合があり、重症の場合は中枢神経系の関与も示す。症状の組み合わせにより、呼吸不全になり、時には肺水腫を引き起こす (EHC 63 (1986))。	変更なし	変更なし	2023.09修正 分類区分及び分類根拠の修正
m-nite-87392-12-9	2-クロロ-N-(2-エチル-6-メチルフェニル)-N-[(S)-1-メトキシプロパン-2-イル]アセトアミド(別名:メトラクロール(S体))	87392-12-9	呼吸器感作性	区分に該当しない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。 【参考データ等】 (1)本物質(S体)を含むメトラクロール(ラセミ体、CAS番号:51218-45-2)の本項は、区分に該当しないと判定された(2020年度GHS分類結果)。	変更なし	変更なし	分類できない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。 【参考データ等】 (1)本物質(S体)を含むメトラクロール(ラセミ体、CAS番号:51218-45-2)の本項は、分類できないと判定された(2020年度GHS分類結果)。	変更なし	変更なし	2023.09修正 分類根拠の修正
m-nite-120-61-6	テレフタル酸ジメチル	120-61-6	急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)	区分に該当しない	–	–	–	–	【分類根拠】 (1)より、区分に該当しない。なお、ばく露濃度は飽和蒸気圧濃度(38.55 mg/L)より高いため、ミストとの判断した。新たな知見に基づき、分類結果を変更した。 【根拠データ】 (1)ラットのLC50(2時間)：55 mg/L (4時間換算：27.5 mg/L)(MOE初期評価 (2015))	変更なし	変更なし	分類できない	–	–	–	–	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。 【参考データ等】 (1)ラットのLC50(2時間)：> 6 mg/L (4時間換算：3 mg/L)(MOE初期評価 (2012)、SIAR (2001)、AICIS ECHA (2008))	変更なし	変更なし	2023.09修正 分類区分及び分類根拠の修正
m-nite-611-06-3	2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン ~~(別名：1-クロロ-2-ニトロベンゼン)~~	611-06-3	–	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2023.09修正 名称修正